



THE ROTARY CLUB OF KUSHIRO WEST 2011~2012(平成 23 年~24 年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和 45(1970)年 6 月 8 日 承認 昭和 45(1970)年 6 月 10 日



2011~2012 RI テーマ 「地域社会にロータリーを活かそう!!」

《本日のプログラム》 1 月 23 日 12:30

普通例会

会員卓話

《次回のプログラム》 1 月 30 日 12:30

普通例会

ゲスト卓話

《例会日:毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場:釧路全日空ホテル 釧路市錦町 3-7》

会長 加納 則好 幹事 小泉 和史

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

2012 年 1 月 23 日(月) 第 24 回 通算 1 949 回

【点鐘】 加納会長

【ロータリーソング斉唱】 「それでこそロータリー」 ソングリーダー:小和田 会員



【お客様と来訪ロータリアンの紹介】 釧路RC 幹事 甲賀伸彦 君

【会長挨拶】 加納会長



みなさんこんにちは。ガバナー月信が皆さんのお手元に届いていると思います。その中で、2013-2014年度地区ガバナー候補者に釧路ベイロータリークラブの葎本正美会員が選ばれております。協力して盛り上げていこうと思います。話は変わりますが、先週、ニューイヤーコンサートが釧路であり、打ち上げもここ、全日空ホテルでありました。楽団の皆さんは外国の方々なのですが、釧路は大変綺麗な街で気に入りました。感動しました。という意見をいただきました。大変うれしく思っております。本日は三木会員による、会員卓話となっております。よろしくお願い致します。

【幹事報告】 小泉幹事



第 2500 地区ガバナー事務所からタイ洪水被害への義援金についての報告が来ております。

- ・ロータリー米山記念奨学会から「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・近隣クラブからプログラム及び会報が届いております。

【本日のプログラム】

●会員卓話

《三木会員》



今日は、私ども「釧路の教育を考える会」の活動についてお話をさせていただきます。お手元のレジュメにまとめさせていただきました。ここ最近、私と会長の新聞への露出が多々ありましたので皆さまご存知かとは思いますが、会長は元釧路市教育長の角田憲治さんです。副会長は三名、釧路市議会副議長の月田光明さん、中小企業家同友会・政策委員長、鶴ヶ岱郵便局長の森川浩一さん、そして私であります。会員は実に多彩で、

釧路高専の中村副校長、武修館高校の高橋副校長、市役所の幹部職員、中小企業家同友会、商工会議所青年部、先日当会にお招きした、自主夜間中学くるかい事務局長・釧教大講師の添田さん、会社経営者、市P連役員、新旧PTA会長、退職校長会会長等となっています。

昨年の10月13日に、我々メンバーが1年半かけてまとめた提言書、「くしろ学力向上提言書」を、蝦名市長、釧路市教育委員会、北海道教育委員会釧路局に提出して参りました。以前もお話させていただきましたが、北海道の子ども達の学力は全国でも最低レベルにあります。2010年度の全国一斉学力テストにおいて、小6生は最下位の47位、中3生は下位の団子の中にあります。悲しいかな我が釧路はさらに一段と低く、マクロな視点で見たならば、それが経済の悪化や生活保護受給者の増加に代表される福祉の問題の悪化に拍車をかけていることは否定できません。

小中高の12年間は、その後の実社会へとつながっています。言ってしまうと、学校は単なる通過点です。実社会へ出るための基礎力を身につけるための場所であって、地域の未来を真剣に考えたならば、現在の「学力危機」に歯止めをかけなくてはなりません。これはもはや釧路・根室に限ったことではなく、北海道においての大問題です。お手元にお配りした冊子は、読売新聞による北海道の「学力危機」の実態を取材したレポートです。ぜひ、ご自宅なりでお読みいただければと思います。

さて、我々「釧路の教育を考える会」は提言書の中において、今すぐに直ちに実行すべき課題を「5つの緊急実行課題」としてまとめました。レジュメにもありますように、1.北海道教育委員会と連動した目標設定。(平成26年度の全国調査までに全国平均以上を達成)2.学力計測と補習の実施。3.小中連携と中高連携。4.コミュニティスクールの設置。5.学力情報の公開。以上の5つです。ともすれば行政は、受け取って「善処します」などと言うだけでノラクワリでお蔵入り。それを絶対に許さない。何をさて置いても、直ちにこの5つを実行せよ。そうしたならば、ごく短期間の間に確実に子ども達の基礎学力が向上するのだから。そういった趣旨です。

さて、おかげさまで、釧路市養育委員会はかなり力を入れてこの問題に取り組み始めました。市立全小中学校における夏冬休み期間の補習授業が、昨年の夏から開始されています。新聞報道にもありましたが、釧路市独自の学力テストの導入も決まっています。全国一斉学力テストの情報公開詳細や、コミュニティスクールの設置にも前向きに取

り組んでいます。先日、教育長にお会いしたのですが、近隣町村はもとより道内各地の市町村教育委員会が、そしてその大元の北海道教育委員会が、釧路市教育委員会の一挙手一投足に注目しているとのことでした。

お手元の資料にありますように、実は来月2月18日(土)に読売新聞北海道支社主催によるシンポジウムに出席することになりました。こともあろうに、パネルディスカッションのお相手は、現・北海道教育長と前・北海道教育大学学長です。おまけに、「学力危機 釧路からの提言」と題しての基調講演まで。本当に私でいいんですか？大丈夫ですか？と思ってしまいますけれど。(笑)

この問題を、10年来追ってきました。私塾の経営者として、一私塾講師として。「何としてでも変えたい」「絶対に変えなければならない」と。以前もお話しましたが、私がロータリーに入会させていただいた最大の理由も、そこにあります。地元経済界の重鎮の皆様方に、ぜひともこの問題とこの問題の深刻さをご理解いただきたくったからです。一人二人と仲間ができ、志を同じくする方々との不思議な出会いがあって、あれよあれよと言う間にここまで来てしまいました。

今年は、釧路新聞社もこの問題を年間キャンペーンに据えてくださいました。同社挙げての全面バックアップには、ただただ感謝あるのみです。北海道新聞釧路支社も、3月からこの問題の特集を組んでくださる予定になっています。まさに、夜明けは東から。北海道の子ども達の「学力危機」は東から陽がさし始める。程なくして、北海道全体の夜が明ける。そう願ひ、そう信じています。我々「釧路の教育を考える会」は、まだまだどンドンやります！応援のほど、お願い申し上げます。ご清聴、ありがとうございました。



《例会運営委員会 大場委員長》

1月23日 在籍数 29名	出席免除者 6名	出席義務者 23名	「編集:中川会員」
名誉会員 1名	出席者 15名	欠席者 14名	出席率 51.7%

会報委員長: 金田 剛 副委員長: 中川 陽市
委員: 櫻田 美香 真岩 勝司 大場 恵治 小泉 和史